

福岡ランニングセンター(FRC)ニュース NO.51

発行日 2020年3月12日

発行責任者 西村文男

事務局 新日本スポーツ・福岡県連盟北九州事務所 〒806-0013 北九州市八幡西区清納1丁目1-10

TEL・FAX 093-662-9278

E-mail krc-fn@jcom.home.ne.jp

水巻町がコロナ対策で会場閉鎖！

第33回みずまき月例マラソンを中止します

2月28日(金)13時26分に、水巻町役場より「3月15日の月例マラソンは自粛してください。」と電話がありました。「不特定多数が集まるわけでもないし、規模が小さいので開催する予定ですが。」と返答すると、「開催は辞めて欲しいんですが。」との返事です。「それは、会場使用許可を取り消すということですか。」と問うと、「その通りです。」との返事がありました。

「わかりました。」と言って電話を切りましたが、要領得ないので、3月5日(木)に神田副会長と一緒に水巻町役場に行きました。そこでも、窓口の職員は自粛してくださいしか言いません。

奥から課長が出て来て、水巻町のホームページに「新型コロナウイルス感染症にともなう水巻町からのお知らせが」出ているように、公共施設を3月31日まで閉鎖することになりましたとの説明がありました。従って、第33回みずまき月例マラソンを中止することにしました。

事務所には会員や登録者の方から、「マラソン大会が中止になって走る所が無くなったので、是非、月例マラソンで走らせてもらいたいと思って電話した。」との声が多く寄せられました。

前回は雨天で中止して、今回は会場閉鎖で中止になり、皆さんにご迷惑をおかけしますが、事情ご賢察の上ご理解とご協力をお願いいたします。

新年度(2020年4月~2021年3月)会員の

更新がまだお済みでない皆さんへ

前号に引き続き会員継続のお願いです。入金方法は以下のとおりです。

なお納期限までに入金がない場合は、新年度の「みずまき月例マラソン」の参加費割引(200円引き)と「のおがた新春マラソン」の参加費割引(半額)の適用は無くなりますのでご注意ください。

- ① 年会費 個人：2,600円(中高生は1,300円)
ファミリー：4,200円
団体：5,800円

② 納入方法

(1) 郵便振替 口座記号番号：17410-96463341 加入者名：湊上一宏

郵貯をお持ちの方はATMを使えば無料(ただし月1回まで)

(2) 他金融機関からの振込

店名：七四八 店番：748 預金種目：普通預金 口座番号：9646334

③ 納期限 3月末までをお願いします。

④ その他 ファミリー、団体で会員に変更がある場合は、名簿を提出してください。

福岡県陸協の審判員講習と登録について

コロナ感染対策で、前回お知らせした講習会が中止となり、会場が下記の通り変更になりました。

●日時：3月14日(土)又は15日(日) 受付14:00~16:00 どちらの日でも結構です。

●会場：鞘ヶ谷競技場(戸畑区西鞘ヶ谷20-1) 講習会は行わず、レポート提出となりました。

●持参品：①資料代1,000円 ②登録料(S級4,000円、A級3,500円、B級3,000円)

③事務費500円

●会場で渡す資料：①講習会資料と別添資料プリント ②受講レポート ③競技会の一覧表(A3)

④審判意向調査票

●手続きの流れ：①受付にて資料代1,000円を納入し、審判伝達講習会資料と受講レポートを

もらう。

- ②自宅にて資料を熟読し、レポートを作成する。
- ③作成したレポート用紙を4月に行われる記録会等の受付時に役員係に提出する。
- ④レポート提出を確認後、審判員手帳の審判員講習会ページに押印します。
- ⑤審判意向調査票については、当日、地区審判部長(則元)へ提出してください。

福岡ランニングセンター第5回総会開催

第34回みずまき月例マラソンの後に、下記により開催することになりました。会員の皆さんの参加をお願いします。

記

1. 日時：4月19日(日) 14:00~16:00
2. 場所：新日本スポーツ連盟北九州事務所(通称「自然の館」) TEL093-662-9278
〒806-0013 北九州市八幡西区清納 1-1-10
3. 議題：2019年度経過報告・会計報告・監査報告
2020年度活動方針・予算案・役員選出



【投稿】「スポーツのひろば」最新号(2020年3月号)で私が特に興味を持って読んだ記事を紹介します。

カラー記事は新日本スポーツ連盟に加盟する種目組織(テニス、ミックスバレー、卓球、バレー)の全国大会の紹介です。

特集では「スポーツ小説はいかが?」スポーツの楽しみ方にはスポーツをする、観る、支える等ありますが、読む楽しみもあります。マラソン、水泳、ペダリングをテーマにした小説が紹介されています。

コラム「ケニア出身ランナーの速さの秘密は?」では人口の1割に過ぎない特定部族出身者がメダリストの大半を占めている。「リニアで南アルプスを壊さないで一勤労者山岳連盟が現地調査」ではリニア関連工事が豊かな生態系を脅かしている実態、静岡県内では大井川水系の水資源と生態系問題で連絡会議が作られJR側と大議論になっているという記事があります。

連載企画では「みんなで歩こうウォーキング日本縦断」で箱根旧街道「甘酒茶屋から石畳の道」が紹介されています。この茶屋では江戸時代初期から甘酒が作られているそうです。

《役員だより》

コロナ対策で全国一律に小・中・高等学校の休校を要請したが本当にコロナ対策になっているのか?実態は社会生活を混乱におとしただけではないか。安倍首相の独断で、コロナ対策の対応の遅れを覆い隠すために、さもコロナ対策をやっていますと言わんばかりのパフォーマンスではないのか。そう思えてならない。私は学童保育クラブの運営もしているが、通常インフルエンザで感染者が出て休校になれば、学童保育も閉鎖する。ところが、今回は学童に児童を預けてくださいとなった。狭い部屋に100人もの児童を押し込めてどうして感染症対策と言えるのか。しかも、喋るな、触るな、外に出るなでは、子どもの特性を全く理解しないものの発想である。

この休校要請については、どうして休校するのかの説明もない。「子どもたちの健康・安全が第一」と口障りのいいことを言いながら、批判すると逆に「暮らしに直結する決断には批判が伴う」と開き直り、無反省な態度に終始するだけである。

従って、この休校がどれだけ効果があるのか、全く検証が出来ない事態に陥っている。意思決定の議事録すら残されていないので、検証のしようもない。すべては安倍首相の胸算用でしかない。

日常生活をして感染対策をすれば、感染が広がっているのか終息しているのかが判断できるが、感染していない人を一斉休校して行動を自粛させている以上、終息しているのか全く判断できない。社会生活を混乱におとし、不安を掻き立てるだけの全国一斉休校や、公共施設の閉鎖は直ちに辞めて、検査体制を充実する等、実効あるコロナ感染対策をとるべきだ。

(記) 西村文男